

OSC2020 Online/Fall 出展について

2020/8/21



オープンソースカンファレンス実行委員会

www.ospn.jp

OSCオンライン開催の状況

- OSC2020 Online/Spring
 - 4月24日(金)25日(土)開催
 - セミナー3トラック×2日間
 - 500名参加 (807名申し込み)
- OSC2020 Online/Nagoya
 - 5月30日(土)開催
 - セミナー4トラック
 - 370名参加 (513名申し込み)
- OSC2020 Online/Do
 - 6月27日(土)開催
 - セミナー5トラック+ミーティング2トラック
 - 450名参加 (690名申し込み)

※参加者数は時間帯毎のZoom参加、YouTube視聴の合計数から最大値を取ったものです。
入れ替わりがあるため、実際のユニーク参加者数よりも少なくなります。

A) セミナー

- Zoomミーティング+YouTube Liveによるウェビナー形式
- 複数発表者によるリレー発表、パネルディスカッションなども対応可能

B) ミーティング

- セミナーと展示（説明・デモ・質疑応答）の中間的（ミックス？）なスタイル
- リードプレゼンテーション+Q&A、ディスカッション
- モデレーターやリード役が必要

C) オンライン展示

- デモやQ&Aの実施

- ウェビナー形式は聴講者も参加しやすい
 - リアル開催に比べて参加者は多い印象
 - 比率はZoom 1対YouTube Live 2ぐらい
- 終了後にYouTubeにてアーカイブ公開するため、2次的な視聴が見込めます
- チャットで質問がしやすい
 - ZoomとYouTubeの双方でチャット質問可能
- 講師の方はマイク、ネット回線が必要
 - 音声が悪いと聴講者が聴き続けられない

ミーティングについて 概要

- セミナー会場と並列でミーティング会場を用意
 - 参加者には**セミナーの一種**に見える
- セミナー同様の進行
 - 45分入れ替え制
 - 主催者に共同ホストを設定
- YouTube Live連携も行います
- モデレーターが重要
 - 質問がなかなか出ない場合に備えて話せる人が複数いるのが望ましい

ミーティングについて 詳細

- 明確なテーマ設定

「〇〇に興味がある人」程度では参加者は容易には集まらないので、より具体的なテーマ設定を行います。「新バージョンの〇〇という機能について」「〇〇の運用管理ノウハウについて」など、参加者が具体的に参加するメリットが感じられるテーマの設定が必要です。

1. リードプレゼンテーションの実施

テーマに沿った内容を10分から15分程度、ホスト側でプレゼンテーションを行ってください。テーマについて参加者の前提知識や論点を整理することが目的です。

2. 質疑応答

リードプレゼンテーションを受けての質疑応答です。参加者から質問が出ないことの方が多いので、逆にホスト側から参加者への問いかけを設定しておくことが望ましいです。たとえば「〇〇を使いたいと思っている人」「〇〇で失敗したことがある人」など、参加者から発言を引き出しやすい逆質問を設定するとよいでしょう。「非言語的なフィードバック」をうまく活用します。発言を指名するなどして発言しやすい雰囲気を作ってください。

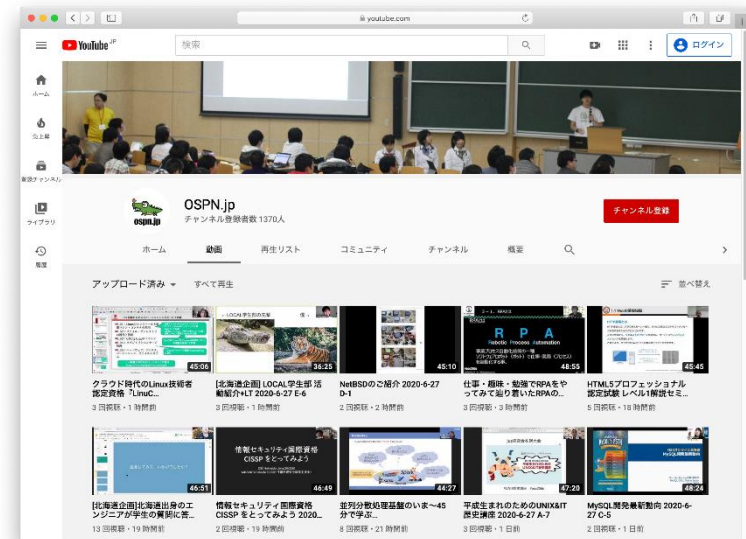
3. フリーディスカッション

質疑応答からのやり取りが活発になったら、フリーディスカッションで進行します。ホスト側は発言者を指名したり、詳しくそうな人に話を振るなど、司会進行役となってください。

- テーマ：K8s運用経験2年のOps担当が質問に答えます
 - こんなに長くなくてもよいです
- 担当：日本仮想化技術株式会社
- プレゼン：「とあるDevOps案件のK8s」
- 概要：コンテナオーケストレーションツールとして「Kubernetes（K8s）」が注目されていますが、実際のシステムでの活用になかなか踏み切れないことも多いのではないのでしょうか。本セッションでは、2年間続いているK8sを使った開発プロジェクトのシステム概要とOps担当者として行っていることについて解説した後、参加者の皆さんからの質問にお答えします。

OSPN YouTubeチャンネル

- <https://www.youtube.com/c/OSPNjp>
- 登録者：1467名（2020年8月19日現在）
- OSCオンライン終了後、余計な部分のカットやボカシなども含めて編集可能です
- できるだけセミナー、ミーティングは公開OKをお願いします



協賛費用と協賛特典

種別	金額	社名ロゴ 掲載	協賛ロゴ スライド ショー掲載	セミナー	ミーティング	オンライン 展示	オンライン ちらし	アンケート結果
プラチナ	ご相談	○	○	○	○	無料	○	集計結果 メールアドレス
ゴールド	20万円	○	○	セミナー2コマ、または セミナーとミーティング 各1コマ		無料	○	集計結果 メールアドレス
シルバー	10万円	○	○	どちらか1コマ		無料	○	集計結果 メールアドレス
ロゴ	2万円	○	○	×	×	×	○	集計結果

※税別表記です

- ・セミナー 45分間
- ・ミーティング45分間
- ・オンライン展示：出展者で運営、時間帯はおまかせ

開催までのスケジュール（予定）

8月上旬 出展者募集開始

8月21日(金) 出展者説明会 (Zoomにて)

9月10日(木) 受付締切/タイムテーブル調整

▪

10月上旬 プログラム公開

▪

▪

下記イベントを事前にご覧いただけます

・8月28日(金)29日(土) OSCオンライン 京都

・9月19日(土) OSCオンライン 広島

10月19日(月) リハーサル日

10月21日(水) リハーサル日

10月22日(木) 関係者・参加者にZoomのアドレスを送信

10月23日(金) 1日目

10月24日(土) 2日目

出展のお申し込み、お問い合わせ

OSC事務局

- メール：osc2020@Beginet
- Slack：OSPN Slackにて（次ページ）
- お問い合わせフォーム：各開催ページの右上からお問い合わせ可能
- Zoomでお打ち合わせ
随時可能です



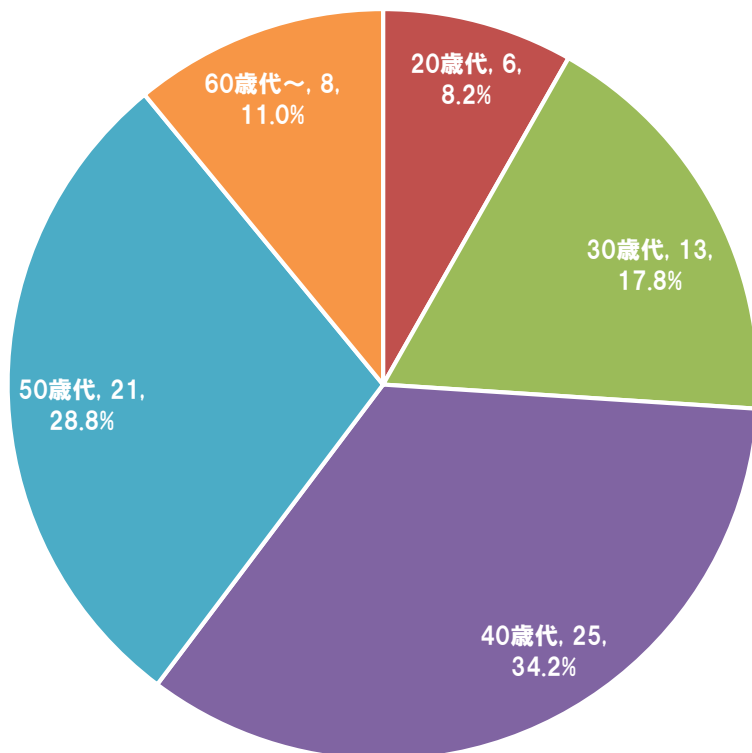
- Slackに入る
 - 講師の方は必須。関係される方も
 - https://bit.ly/ospn_slack
- 企画検討
 - 出展の有無だけでも早めに
 - 企画検討をお手伝いします（個別ミーティング）
- 音声品質の改善
 - 音質が悪かったので聴講しなかったという意見も
 - マイクと回線の見直しをお願いします

OSC online 春 参加者のサマリ

※2020年4月24、25日開催の「OSC2020 Online/Spring」の参加者アンケートデータより

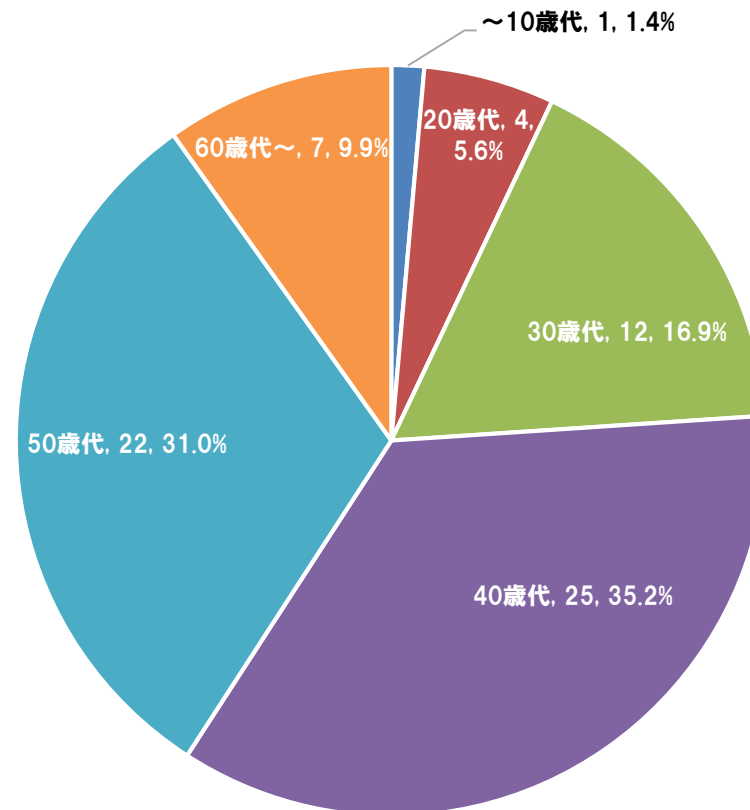
OSCの参加者層 2020年4月オンライン開催データから 年代

4/24(金)



N=73

4/25(土)



N=71

OSCの参加者層 2020年4月オンライン開催データから 居住地

4/24(金)	都道府県名	回答数
	東京	23
	神奈川	16
	千葉	10
	岐阜	5
	北海道	3
	茨城	2
	埼玉	2
	静岡	2
	大阪	2
	福岡	2
	宮城	1
	京都	1
	岡山	1
	広島	1
	佐賀	1
	長崎	1

N=73

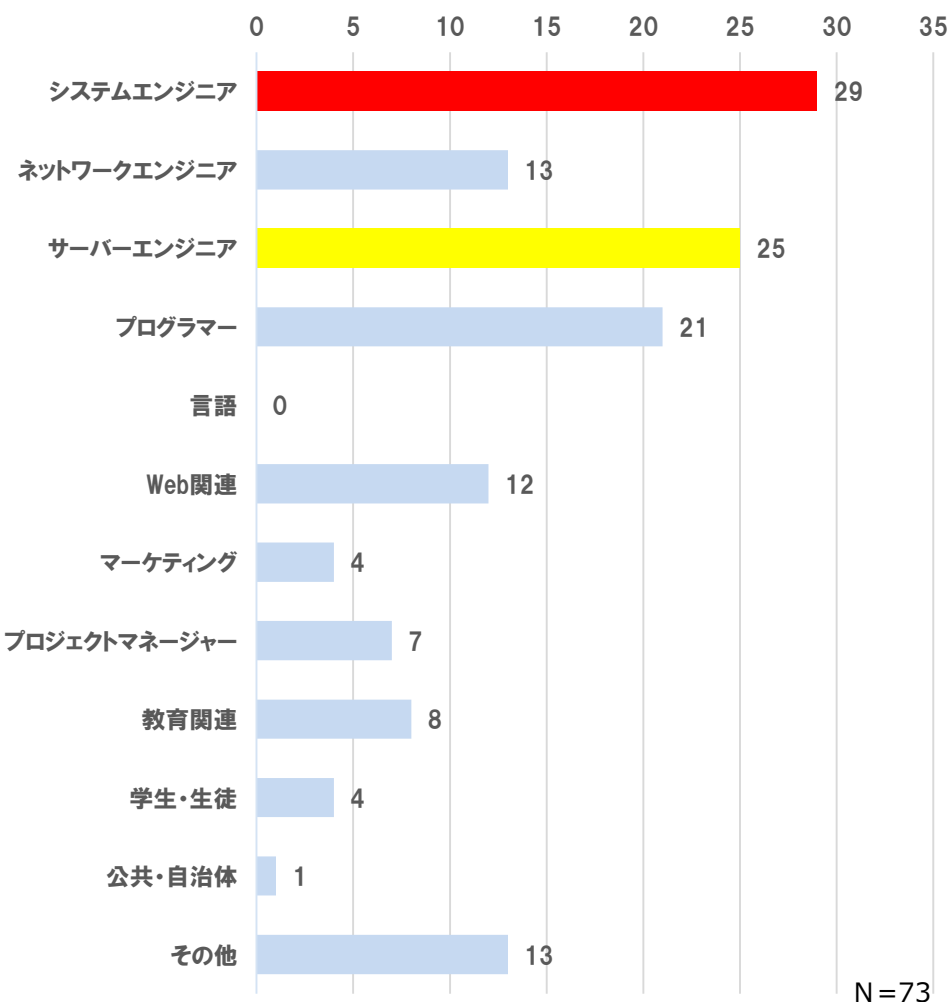
4/25(土)	都道府県名	回答数
	東京	22
	神奈川	15
	千葉	8
	北海道	3
	静岡	3
	大阪	3
	福岡	3
	埼玉	2
	岐阜	2
	愛知	2
	広島	2
	宮城	1
	富山	1
	京都	1
	佐賀	1
	熊本	1
	台湾	1

N=71

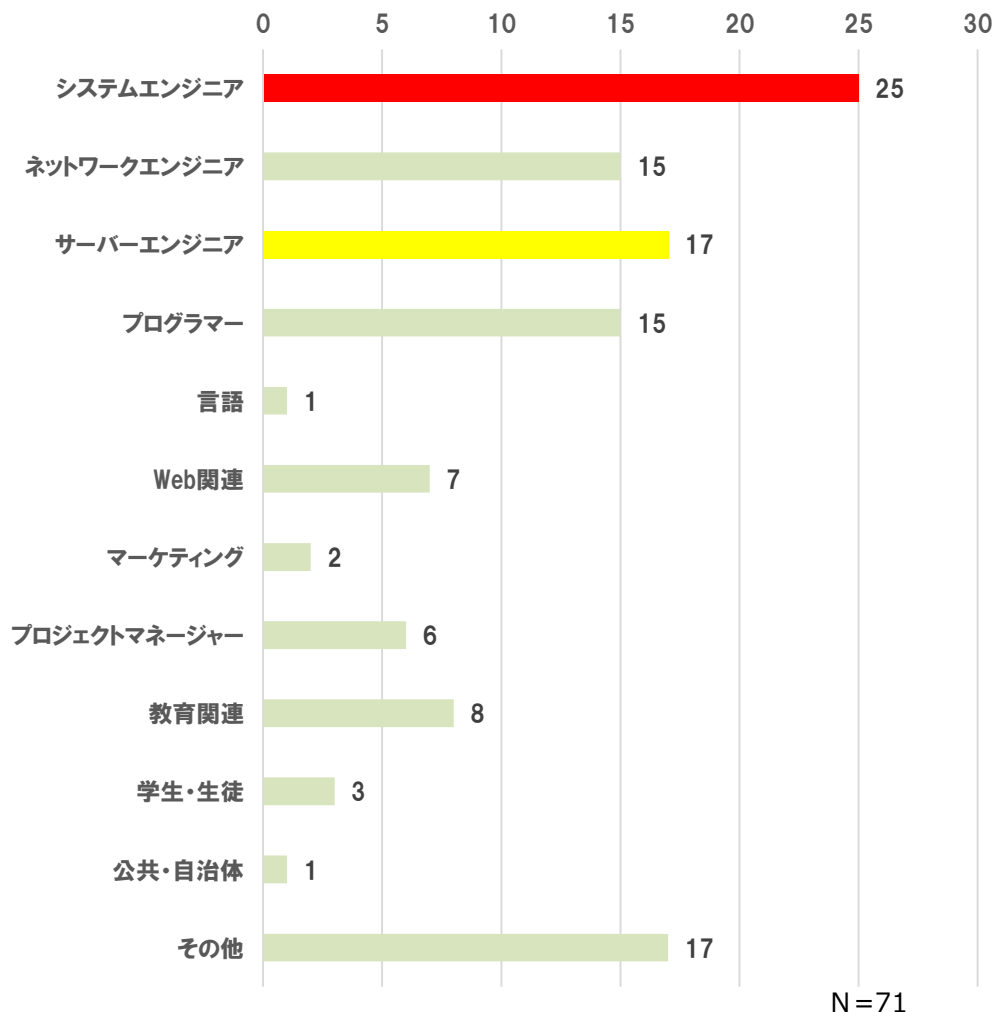
OSCの参加者層 2020年4月オンライン開催のデータから 職種

専門分野・職種について、当てはまるものをお答えください。（複数回答可）

4/24(金)



4/25(土)



参加者の傾向（オンライン）

- 2日間を通じ、Linuxに関心のあるシステムエンジニア層が最も多くなっています。
- 金土の開催のため、1日目は学生が多く、土曜日は社会人に多く来場いただきました。
- 2日目は20代の来場者で約3割を占め、学生＋若手エンジニアの来場がうかがえます。
- 所属企業・団体については任意項目ではあるものの、インフラ系企業、Sierを中心に、非IT系の企業にお勤めの方、また会場が大学であることから、教育関係（学生含む）の名前も多く記入が見られました。

参考

オンラインセミナー配信アシスト サービス

オンラインセミナー配信アシストサービスとは？

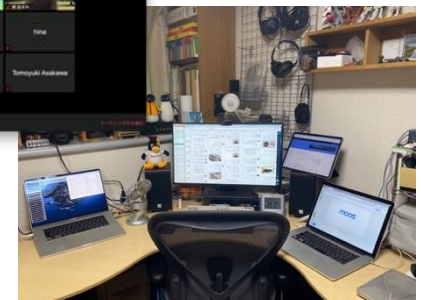
- Zoom と YouTube Liveを使用した 1 社独占オンラインセミナー配信サービスです。
- 配信時間は90分以内（質疑応答や交流会を含みます）
- 聴講はZoomが100名、YouTube Liveは無制限。
- 自社でZoomのライセンス契約がない場合でも配信が可能です。
- YouTube LiveはOSPNのアカウントのチャンネルから配信。その後のアーカイブも同アカウントから可能です。
- 自社のコンテンツとして、動画データをお渡しすることも可能です。
- 告知、集客は、OSPNのconnpassからイベントを立てられます。

<OSPN connpassページ>

<https://ospn.connpass.com/>

<OSPN YouTubeチャンネル>

<https://www.youtube.com/c/OSPNjp>



OSCの配信プラットフォームを利用するメリット 1

OSC（オープンソースカンファレンス）は、オープンソースの「今」を伝えるイベントです。

2004年の初回開催から16年、現在は東京だけでなく、北は北海道、南は沖縄まで全国各地で年間10回以上、年間延べ参加者数6,500名以上を数える規模となっています（2019年実績）。

- ・ 告知
- ・ 集客
- ・ 当日の運用サポート
- ・ セミナーのアーカイブ化



をまとめてご提供することで、効率的なセミナー運営が可能です。

OSCの配信プラットフォームを利用するメリット 2

セミナーの集客には、以下のチャネルが利用できます。

- ・ OSPNメルマガ 約7,000通
 - ・ OSC公式Twitterフォロワー 約3000人
 - ・ OSPN YouTubeチャンネル登録 約1400人
 - ・ OSPN connpass登録者 2,800人以上
- (2020年8月現在)



料金・提供内容

<基本パッケージ料金>

- ・ Zoomセミナー（YouTube Liveつき） **1回／30万円（税別）**

<パッケージ料金に含まれるもの>

- ・ 企画についての事前お打ち合わせ／コンサルティング
 - ・ 平日日中・または夜間（21時まで）の1開催90分以内のセミナー
 - ・ OSPNのメルマガ、Twitter、connpassページでの告知・募集
 - ・ Zoomライセンス（100名まで）
 - ・ Zoomセミナー操作事前レクチャ（兼事前リハーサル）
 - ・ 当日の司会進行・オペレーション
 - ・ セミナーの「OSPN YouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/c/OSPNjp>)」でのアーカイブ公開
- （※本チャンネルでのアーカイブ公開不可で配信した動画の納品をご希望の場合、別途動画納品代金を頂戴します）
- ・ アンケート集計、オプトイン済みメールアドレスリスト

オプション料金

- ・ 時間枠変更 別途お見積り ※1
- ・ 土日祝日対応 10万円（税別）
- ・ Zoom懇親会対応 5万円（税別） ※2
- ・ セミナー動画納品 5万円（税別） ※3
- ・ 外部講師アサイン 別途お見積り（ご要望内容により対応。お問い合わせください）

※1 90分以上のセミナーをご希望の場合。長時間、複数日程などもご相談ください。

※2 セミナー終了後、30分程度のアフターイベントの司会進行。詳細は応ご相談

※3 OSPNでの動画アーカイブ配信NGの場合、納品料金として頂戴します。OSPNでのアーカイブ配信がOKの場合は、動画納品料金はサービスいたします。